

令和2年度総合的な学習の時間の全体計画

生徒の実態
 ○ 小規模校であり、素直で学習や特別活動などに意欲的に取り組んでいる生徒が多い。礼節を大切にしようとする校風も育ってきた。
 ● メディアコントロールが課題である。

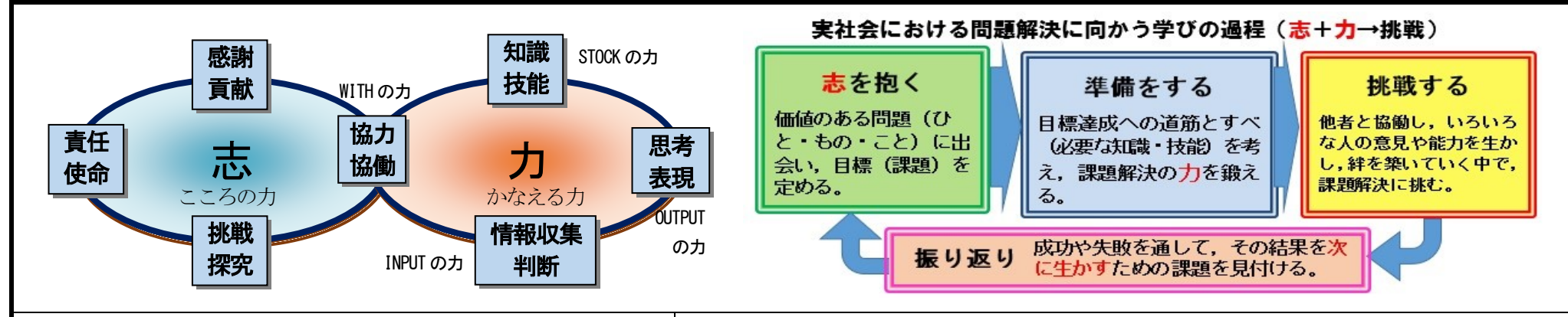
保護者・地域の実態
 ・厳しい家庭環境にある生徒が増加している。一方で、学校に協力的な人材は多い。
 ・過疎化が進み、少子・高齢化が急激に進んでいる。
 ・海と山の豊かな自然環境に囲まれている。

<学校教育目標>
未来を創る
 ～誇りを持って故里を語り、受け継ぎ、発展を担う志と力を育てる教育の創造～

<研究主題>
Society5.0 を生きる資質・能力の育成をめざして
 ～言葉磨きとICTの活用～

第1 目標
 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
 (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

本校の総合的な学習の時間の目標
 探究的な見方・考え方を働かせ、生き方について広く深く視野を広げるとともに、故里を知り、つながり、貢献する生き方と方策について横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に地域社会に関わろうとする意欲と態度（志）と、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力（力）を育成する。



育成を目指す資質・能力		目指す学びの姿（評価規準）	
力	問題解決に向かう探究の能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力	課題解決に必要な知識や技能を習得し、活用することができる。 尋ねたり、調べたり、試したりして、必要なものを見付け、選び出すことができる。 しっかり考えて、学びを自分のものにして表現することができる。
	主体的・協働的に地域社会に参画しようとする意欲と態度	学びに向かう力・人間性等	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。 感謝の心を持って、自分なりに貢献することができる。 自分の役割や使命を考え、すべきことを行うことができる。 夢を持ち、疑問やできないことを大切に、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。

単元	生き方学習	ふるさと学習	
テーマ	不かく尋ね たかく志す 広く深く視野を広げ、不を覆す高き志を胸に	温故挑新 故里を温め、新しきに挑戦しよう	
中期	7年生 (第1学年) 自分を創る	探究課題 魅力的な生き方さがし 「運命の本ヒブリアートーク」を通して、地域に貢献した志とそれぞれの先人の生き方の魅力を知るとともに、人間の生き方について広く深く視野を広げ、主体的な自分の生き方を模索する。	探究課題 落語貢献 PROJECT 「人を楽しませることのできる新しい自分づくり」という目標に向けて古典芸能(落語)の習得に協働的に取り組み、出前落語等で地域の方に楽しんでもらえる貢献活動に挑戦することを通して、地域に貢献する志と課題解決の力を高める。 探究課題 科学研究PROJECT 地域を題材に、協働して科学的な探究の方法を学ぶ。
	8年生 (第2学年) 仕事を創る	探究課題 広南起業 PROJECT 起業家からの情報収集を通して、いろいろな職業で活躍する先人の生き方や考え方を知るとともに、広く深く職業的視野を広げ、主体的な自分の職業的自立へ向けての考え方を模索する。	探究課題 地域の匠に学ぶ 「日本の優れた伝統文化を地域の方から学び、伝えることのできる力を身に付ける。」 探究課題 未来貢献 PROJECT 「起業による社会貢献」という目標に向けて、職場体験と故里を題材にした起業による社会貢献活動を通して、地域社会に貢献する志と課題解決の力を高める。
後期	9年生 (第3学年) 未来を創る	探究課題 I 「FOR THE NEXT STEP」 様々な進路先について広く深く視野を広げることを通して、よりよい進路選択へむけて自立的態度と支援的環境づくりを実現する。	探究課題 未来貢献 PROJECT 故里の未来に貢献するための課題を設定し、課題解決へむけたメッセージを創作劇という総合的な表現活動を通して地域に発信するPROJECTの取組を通して、各教科で学んだ知識・技能を総合的に発揮しながら、主体的に地域社会に参画する志と協働的に課題解決に向かう力を高める。
		探究課題 II 「自己PR大作戦」 将来に向けて自分の良さや志を伝える表現力を磨くことを通して、社会的自立にむけて、主体的な自分の生き方について考えを深める。	

指導方法	学習の評価	指導体制
<ul style="list-style-type: none"> 教師はファシリテーターとして、生徒の主体性と協働的な態度を高める支援を見通しを持って行う。 地域ボランティアや地域の人材を有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の課題や学習計画、探究の過程を振り返るポートフォリオ評価(ワーキングポートフォリオ) ルーブリックによる自己評価・他者評価 キャリアノートによる評価 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が協働し、学年組織を中心に指導を進める。 地域の人材や外部団体と連携し、問題解決に向かう学びの過程に沿って、協働指導体制を構築していく。